



©2023 幸井琢磨

龍野で作られた池内オルガン

明治の音色を奏でる風琴



たつの市立 龍野歴史文化資料館 ロビー展 令和5年4月29日(土) ▶ 6月25日(日)

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日：月曜日、祝日の翌日、5月9日

入館料：一般 200円 / 65歳以上・学生100円

※ひょうごっ子ココロンカード提示で無料

※5月16日(火)～21日(日)は国際博物館の日記念事業のため入館料無料

問
申
合
込
先

たつの市立龍野歴史文化資料館

〒679-4179 兵庫県たつの市龍野町上霞城128-3

TEL: 0791-63-0907 FAX: 0791-63-0998 EMAIL: rekishi@city.tatsuno.lg.jp



日本に西洋楽器が輸入され始めた明治時代、キリスト教の普及に伴い教会でオルガンが演奏されるようになります。

明治中頃になると新しい唱歌の普及と共に教育現場でオルガンの使用が始まり、国内産の風琴（オルガン）が製作・販売されるようになりました。

横浜でオルガン作りを学んだ北龍野出身の池内甚三郎は明治二十一年に大阪でオルガンを製作しており、それは全国でも先駆的な存在でした。

その後東洋楽器製造会社を北龍野で設立し、多くのオルガンを製作・販売。

現在池内製のオルガンは約20台確認されており、

福島県や山梨県、長崎県に伝わっています。

また、龍野城下の醤油醸造家に伝わった池内製オルガン（現在当館に寄贈）は所蔵者により修理され演奏することが出来ます。

明治時代の音色を今に伝える貴重な資料です。



関連イベント

文明開花を奏でる風琴演奏会

5月21日(日)

演奏者：三浦轡司氏(教会オルガニスト) /
ストーリーテラー：寶山かおる氏(わくわくプロジェクト)

- 1回目 11時～11時30分「明治の音楽 風琴弾き語り」
- 2回目 13時～13時45分「龍野がオルガンに出会った日」
- 3回目 14時～14時30分「露風とオルガン」
- 4回目 15時30分～16時「あなたもオルガニストー演奏体験ー」

*事前申込必要。全て先着20名。

【申込み先】たつの市立龍野歴史文化資料館

※電話または電子申請でお申し込みください。



ミュージアムトーク

「西洋楽器と池内オルガン」

6月4日(日)14時～15時

講師：田中晴美氏(オルガン研究家)

*事前申込必要。先着20名。
(入館料が必要です)

GOGOミュージアム

「鯉のぼり水引作品づくり」

5月5日(祝・金)10時～15時

随時受付

対象：小学生以下のお子様と保護者。
(参加費・入館料無料)